



郷土史

ていね

第 101 号

平成 28 年 5 月 11 日

手稲郷土史研究会会報

平成 28 年度

## 第 11 回 定期総会・懇親会開催

4 月 13 日(水)、手稲郷土史研究会第 11 回定期総会が開催されました。

総会は茂内義雄会長の挨拶で始まり、平成 27 年度の事業報告、収支報告、平成 28 年の事業計画(案) 収支予算(案)等の案件が提案され、会員の熱心な審議により可決されました。



議案審議に先立ち、規約による「特別功労賞」に佐藤至会員、「ものしり博士証」に沖田紘昭会員・相川重吉会員・菅原直会員がそれぞれ授彰されました。



### 手稲郷土史研究会 茂内義雄会長挨拶

当会が昨年度 10 年の節目を迎えました。そして今年度は新しい気持ちで迎えた 11 回目の総会です。歴史が大好きな皆さんとともに、私たち手稲の地域を「もっと」「もっと」調べていく一年にしたいと思っています。この手稲・軽川は、まだまだ無尽蔵に歴史が眠っている場所だと思っています。

皆さんとともに、小さなことから「1つでも」「2つでも」明らかにしていく、そんな一年となるよう願いを込めて総会に当たっての挨拶とします。



### 28 年度基本構想

総会に提案された第 1 号議案から第 8 号議案を拍手で一括承認され、28 年度の研究活動がスタートしました。(第 11 回総会議案書参照) 主な項目としては定例研究会の開催・特別事業の開催・一泊研修旅行の企画・昨年度から取り



組んでいる「手稲区歴史資料コーナー」への資料収集・「ていね郷土資料館設置期成会」の取り組みなどが盛り込まれました。



#### 次回の予定

次回(6 月 8 日)は、「手稲山の自然あれこれ」濱谷会員・「文明開化が走る」沖田会員の講演を予定しています  
会場は、3F・視聴覚室です

### 懇親会

恒例により総会終了後、手稲区市民部長本間芳明様・手稲区市民部地域振興課長佐藤亮介様・手稲区連合町内会協議会会長細野邦夫様のご臨席を賜り、手稲郷土史研究会顧問(前会長)國井和夫様の祝杯で懇親会が開催されました。



## 手稲郷土史研究会顧問 國井和夫様による祝杯



國井でございます。ご指名を頂きましたのではなはだ僣越でございますが乾杯の音頭を取らせて頂きます。

手稲郷土史研究会は満10周年を迎える中で、色々な研究成果を積み重ねてきました。この間、手稲区や手

稲区連協の大変なご支援に感謝申し上げます。

我々会員はさらに頑張らなければとの思いを込めて皆さんの益々のご健闘を祈念し乾杯します。



### 新役員「副会長」あいさつ

よろしくお祈いします

今年は北海道に初めて新幹線がやってきました。待ちに待ったわりには今一つ盛り上がり欠けるのはどうしたことか。3月26日手稲発午後5時30分の始発電車に乗り、札幌発6時の特急で、新函館北斗まで、新駅には9時31分発東京行きの「はやぶさ16号」が待っていました。（始発は満員とのことでした）北陸新幹線開通に比べ乗客の少ないのには驚きました。初日からこれではと心配しながら、青函トンネル・東北沿線の懐かしい風景を見ながら新聞を読んでいる内に、14時04分東京駅に着きました。その賑わいを見てようやく北海道新幹線開通が祝福されていることに安堵しました。（新函館から私が座った3列の内2席は東京まで空いたままでした）

札幌までどうしてこんなに時間がかかるのか。一つの私見ですが、昔から蝦夷は本州の人達にとって新天地であり、魅力的なところなのです。全国の観光地魅力調査でも、北海道・札幌・函館など常に上位にランクされます。つまりあまり早く札幌まで新幹線が開通してしまうと、飛行機やフェリーなどの輸送機関や他の観光地への影響が大き過ぎるために、ブレーキをかけ続ける人達がいるのではないかと考えています。札幌開通は2031年（平成43年）春です。

早くも、新幹線工事で手稲山から出る残土に興味を持つ会員もいますが手稲もまだまだ掘り下げれば魅力の尽きないところですよ。和気あいあいの中、札幌市の歴史に新たな1ページを作っていきますよ。

副会長 渡部孝次

### 新役員「事務局長」あいさつ

この度の第11回定例会で、前任の上仙事務局長の後任に選任されましたが、私は手稲郷土史研究会に入会してまだ2年ほどしか経っていません。沢山の人生経験豊富な大先輩がいるなかで、私のような若輩者が多くの大先輩の中で皆さんの期待できるような仕事ができるか？不安と動揺が去来する毎日ですが、手稲郷土史研究会の会員の皆様が、毎月1回開催される例会への参加が待ち遠しくなるような会運営に努めて参りたいと考えております。

“楽しく”自分の大好きな歴史を掘り起こし、研究し、勉強し、会員同士励まし合い切磋琢磨して学んだ成果を月例会に報告し、討論しお互いに学び会い、知見を深めることができる会運営に努めて参ります。私も、上仙事務局長に事務局長就任を依頼されたときは、動揺し悩みましたが、「やりたくないことにこそチャンスあり」難しいことに挑戦し乗り越えた時こそ道は開ける。この事を肝に銘じて前進して参りたいと考えます。今後色々な不手際や勉強不足からくる失敗が数多くあると思いますが、大先輩諸氏の自分の子供を見るような優しい目で叱咤・激励していただければ光栄です。

今後皆様の一層のご協力と支援をお願いし、事務局長就任ご挨拶に替えさせていただきます。

平成28年4月23日

事務局長 梶本 孝